

## 考古学地理情報分析計画シート（20250623 第1版）

タイトル：相模野台地における有樋尖頭器出土遺跡の空間分布と立地傾向の分析

対象地域・範囲：神奈川県相模原市（中央区・南区）、大和市・綾瀬市・座間市・海老名市・寒川町・茅ヶ崎市・藤沢市北部

時代・時期：後期旧石器時代後半期（砂川期／第IV期）

研究上の問い：相模野台地において、有樋尖頭器が出土する遺跡は、どのような地形的水系的環境に立地しているか。石材原産地との関係はどうか。

### データセット

- ・主な分析対象：遺跡地図

- ・データソース：神奈川県遺跡地図、相模原市・座間市・秦野市 WEB 地図、国土数値情報（文化財）

- ・データ整形：遺跡位置情報、出土層位、出土位置、有樋尖頭器の点数、特徴等を属性テーブルに反映。

台地面分類、標高情報、水系分類

### 地理情報解析対象

- ・ラスタデータ：地理院 10mDEM

- ・ベクタデータ：国土数値情報土地分類→立地（地形分類）データ

国土数値情報流域界→流域（水系域）データ

国土数値情報流域メッシュ→河川流域データ

### 解析手法

- ・地理空間情報の取得

- ・ラスタ：標高傾斜の取得

- ・ベクタ：台地面、流域との空間結合

- ・集計

### 図化

- ・背景地図：地理院タイル（陰影起伏図）、国土数値情報水域
- ・重ね合わせ地理情報：土地分類、水系分類、標高
- ・図化
- ・分布図：遺跡分布図、密度分布図、流域別・地形別コロプレス図
- ・その他の解析図